

青山学院大学 総合研究所
2023 年度「基盤研究強化支援推進プログラム」申請要項

青山学院大学総合研究所は、本学の各専門領域及び学術領域の研究を支援し、全学的な研究推進を図り、社会と学術文化の進展に寄与することを目的としています。

その一環として、科学研究費獲得及び日本学術振興会特別研究員の採用に対する基盤研究強化支援推進プログラムを総合研究所による研究支援の一つと位置づけ、来年度の科学研究費、特別研究員の申請、さらには外部の競争的資金の獲得のため、本学の研究者及び大学院生への支援を行います。

1. 支援対象者

次の（ア）もしくは（イ）の区分に該当する者

- （ア）本学の専任教員で以下の 2023 年度科学研究費助成事業に研究代表者として応募し、その審査結果において、A 評価で不採択となった研究課題を有する者
支援区分Ⅰ（* A 評価の課題に加え、ヒアリングに選定された課題）

研究種目
基盤研究（A） 特別推進研究*、基盤研究（S）* 学術変革領域研究（A）

支援区分Ⅱ

研究種目
新学術領域研究（研究領域提案型の公募研究）、 基盤研究（B）、基盤研究（C）、若手研究 挑戦的研究（開拓・萌芽） 研究活動スタート支援 学術変革領域研究（B） 国際共同研究強化（A）（B）

※応募した種目が上記にない場合、研究推進課までお問合せ下さい。

- （イ）本学の大学院生で、以下の 2024 年度採用分日本学術振興会特別研究員に応募し、その審査結果において、A 評価で不採択となった者
支援区分Ⅲ（日本学術振興会 特別研究員）

研究種目
日本学術振興会特別研究員（DC1, DC2）

※応募した種目等により、結果開示時期が異なります。採否連絡とともに開示時期が出ますので、各自で確認してください。

2. 誓約事項

- (ア) 2024 年度科学研究費助成事業に研究代表者として応募すること
- ・ 支援区分Ⅰの不採択 → 支援区分Ⅰに応募
 - ・ 支援区分Ⅱの不採択 → 支援区分Ⅰまたは支援区分Ⅱに応募
- (イ) 2025 年度採用分特別研究員に応募すること
- ・ 支援区分Ⅲの不採択 → 支援区分Ⅲに応募

3. 支援（助成）額

申請研究種目の支援区分に応じて研究費を配分します。

支援区分Ⅰ 1 研究課題につき 150 万円

支援区分Ⅱ 1 研究課題につき 50 万円

支援区分Ⅲ 10 万円

4. 研究費の使用ルール

研究費の使用については、「青山学院大学教員研究費規則」、「学校法人青山学院経理規則」、「学校法人青山学院物品調達規則」等その他の諸規則に準拠し、研究計画の遂行に必要な経費および研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とします。支出の取扱いについては教員研究費に準じます。

5. 申請方法

< 提出書類 > 以下の 2 点を提出してください。

- ① 申請書（様式 基盤支-1 および 2 要捺印）

研究者向け情報 Web (<http://rs.aoyama.ac.jp/soken/kiban.html>) よりダウンロードしてください。

- ② 2022 年度科研費の「審査結果開示」を印刷したもの
(支援区分Ⅲについては、「審査結果詳細」を印刷したもの)

「A」の順位の表示箇所以降の評定要素の評価結果等も提出して下さい。

※ 詳細は、「(別紙)「審査結果開示」画面の印刷について」を参照してください。

※ ②の書類は「基盤研究強化支援推進プログラム」の研究支援のために使用するものであり、それ以外には一切使用しません。

< 申請手順 >

署名・捺印のある申請書を PDF 形式にしてメール送信して下さい。

提出先 E-mail アドレス : agu-tkk@aoyamagakuin.jp

< 申請期間 >

2023 年 5 月 24 日 (水) ~ 2023 年 10 月 31 日 (火)

※審査結果を確認次第、期間をあげず、早急に申請してください。申請が遅れますと、支援（助成）期間が短くなります。特に夏期休暇期間などは予算付与までに要する時間が増える可能性が高いためご注意ください、

<支援（助成）期間>

申請後に予算付与を行います。予算付与が完了してから年度末までが支援（助成）期間となります。執行期限および執行申請期限については教員研究費に準じます。

6. 報告書提出

2024年3月31日(日)までに研究報告書を提出してください。

公表論文等（著書、口頭発表、新聞報道等）のコピーを添付してください。

査読中の場合は、A4一枚に研究内容を記載して添付してください。

詳細は2024年3月上旬に改めて研究推進課よりご連絡いたします。

7. 謝辞について

公表論文等におきましては、下記の謝辞を記入してください。

【和文】本研究は、青山学院大学基盤研究強化支援推進プログラムの支援によって行われた。

【英文】 This work was supported by Aoyama Gakuin University Research Institute grant program for creation of innovative research.

8. 留意事項

本プログラムの支援期間中に、科研費に新たに採択された場合には、交付内定日以降の予算執行はできません。

<問い合わせ先>

研究推進部研究推進課

E-mail : agu-tkk@aoyamagakuin.jp

TEL : 03-3409-7472 内線 : 12031,12032

相模原事務部研究推進課

E-mail : kenkyuusienu@aoyamagakuin.jp

TEL : 042-759-6056 内線 : 42094

以 上

〔別紙〕「審査結果開示」画面の印刷について

科研費電子申請システムの審査結果開示後の画面のうち、「1. 審査区分における採択されなかった研究課題全体の中での、書面審査の総合評点に基づくおおよその順位」(A/B/Cの順位が表示される画面)に加えて、「2. 書面審査における評定要素ごとの評価結果」、「3. その他の評価項目の評定結果」、「4. 留意事項」についても、印刷の上、提出してください。(具体的な表示項目名は、研究種目及び開示内容等により異なる場合がありますが、順位以外の評定内容に関する箇所も提出してください。)

＜提出画面イメージ＞

審査結果開示

研究種目名: 2008年度 基礎研究(B(一般))
 小区分: 0100 哲学および倫理学関連
 小委員会名: 第1付委員会1
 採択番号: 〇〇〇における×××の研究

※各審査区分の応募件数が多い場合には、その区分の応募課題を機能的に分割し、それぞれ独立に審査を行いました。分割が行われた場合には小委員会名の後ろにローマ数字が表示されています。
 ご応募いただいた上記研究課題の審査結果は次のとおりでした。

研究種目名	基礎研究(B(一般))	応募件数	採択件数	採択率
A区分	0100 哲学および倫理学関連	00件	00件	00.0%
B区分	0100 哲学および倫理学関連	00件	00件	00.0%

基礎研究(B(一般))は、2段階書面審査を実施しており、当該小委員会では4名の同一の審査委員が、個々の研究課題について2段階にわたり書面審査を実施し採択研究課題が決定されます。

記

1. 審査区分における採択されなかった研究課題全体の中での、書面審査の総合評点に基づくおおよその順位
おおよその順位は「A」でした。
 (参考) おおよその順位

A	審査区分における採択されなかった研究課題全体の中で、上位20%に位置していた。
B	審査区分における採択されなかった研究課題全体の中で、上位21%～40%に位置していた。
C	審査区分における採択されなかった研究課題全体の中で、上位41%に至らなかった。

2. 書面審査における評定要素ごとの評価結果
 1段階目の審査の各評定要素については、4段階の絶対評価により審査を行っています。あなたの評定要素毎の審査結果は次のとおりでした。
 審査では、総合評点に基づき採否が決定されます。審査に当たり、高い総合評点を付す研究課題は、必ずしも、全ての個別要素において高い評価を得る必要はない旨、評定基準等で示されています。

(1) 評定要素ごとの結果
 あなたの研究課題の平均点及び当該審査区分において採択された研究課題の平均点

評定要素	あなたの平均点	採択課題の平均点
①研究課題の学術的独自性	300	350
②研究方法の妥当性	300	350
③研究遂行能力及び研究環境の適切性	300	350

※当該審査区分に採択課題がない場合は、採択課題の平均点(300)と表示されます。

(参考) ①～③の評定基準

採点区分	評定基準
4	優れている
3	良好である
2	やや不十分である
1	不十分である

(2) 審査の階「(やや不十分である)」又は「(不十分である)」と判断した項目(所見)
 採点「(やや不十分である)」又は「(不十分である)」が付された評定要素については、そのように評価した審査委員の数を項目ごとに「※」で示しています。(最大4個)

評定要素	項目	審査委員の数
①研究課題の学術的独自性	・学術的に見て、関連する重要な研究課題であるか	
	・研究課題の特色や学術的意義は明確であり、学術的独自性や新規性が認められるか	※※
②研究方法の妥当性	・研究計画の意図、実施経路や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか	※
	・本研究課題の遂行によって、より深い学術、科学技術あるいは社会への波及効果が期待できるか	
③研究遂行能力及び研究環境の適切性	・研究目的を達成するための準備状況は適切であるか	※
	・これまでの研究活動等から見て、研究計画に十分な遂行能力を有しているか	※

※審査の階「(やや不十分である)」又は「(不十分である)」を付した審査委員がいない場合、「※」は表示されません。

3. その他の評価項目の評定結果
研究費額の妥当性について
 研究費額の内容に問題があると評定した審査委員が1名いました。

4. 留意事項
人権の保護及び法令等の遵守を必要とする研究課題の適切性について
 法令遵守等の手続き・対策等に不十分な点が見受けられると指摘した審査委員が1名いました。

【補足情報】
 科学研究費助成事業(基礎研究等)の配分審査の仕組み 配分に当たった際の基本的考え方、審査規程等、応募・採択状況等、科学研究費助成事業に関する各種情報は、日本学術振興会科学研究費助成事業ホームページ上でご覧下さい。
 日本学術振興会(JSPS)の科学研究費助成事業ホームページアドレス:
<https://www.jsps.go.jp/j-grants/index.html>
 独立行政法人日本学術振興会

審査結果開示メニューに戻る

<印刷について>

ご使用のブラウザに応じて、以下の手順で印刷してください。

(印刷できない場合は、画面のスクリーンショット等を印刷の上、提出してください)

◆ Windows Internet Explorer の場合

- ① Windows Internet Explorer で、[印刷] (または [ファイル])、[ページ設定] の順にクリックします。
- ② [用紙オプション] で、[背景の色とイメージを印刷する] にチェックをいれます。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。

◆ Chrome の場合

- ① Chrome で、印刷する画面を開いた状態で、[印刷] をクリックします。
- ② [詳細設定] の「オプション」の、[背景のグラフィック] にチェックをいれます。
- ③ [印刷] ボタンをクリックします。

◆ Firefox の場合

- ① Firefox で、印刷する画面を開いた状態で、[印刷] (または [ファイル]、[印刷プレビュー]) をクリックします。
- ② [ページ設定] ボタンをクリックします。
- ③ [書式とオプション] タブを選択し、「オプション」の [背景色と背景画像も印刷] にチェックをいれます。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。
- ⑤ [印刷] ボタンをクリックします。

ご注意

※ 印刷する画面がページに収まらない場合は、[書式とオプション] タブの「書式」で「拡大/縮小」からページに収まるように縮小率を調整してください。

◆ Safari の場合

- ① Safari で、印刷する画面を開いた状態で、[ファイル]、[プリント] の順でクリックします。
- ② [背景をプリント] にチェックをいれます。
- ③ [プリント] ボタンをクリックします。